



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月6日  
上場取引所 東

上場会社名 東邦化学工業株式会社  
 コード番号 4409 URL https://toho-chem.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中崎 龍雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理本部長 (氏名) 井上 豊 TEL 03-5550-3735  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	31,775	△7.1	1,497	△9.9	1,151	△19.1	864	△7.8
2019年3月期第3四半期	34,206	6.0	1,662	△7.0	1,423	△23.7	938	△26.7

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 703百万円 (△16.9%) 2019年3月期第3四半期 845百万円 (△51.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	40.54	—
2019年3月期第3四半期	43.98	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	54,061	13,534	24.9
2019年3月期	52,407	13,089	24.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 13,465百万円 2019年3月期 13,014百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,400	△6.4	2,050	△6.9	1,750	△7.6	1,400	△26.6	65.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	21,350,000株	2019年3月期	21,350,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	21,990株	2019年3月期	21,945株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	21,328,028株	2019年3月期3Q	21,328,055株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、個人消費や企業の設備投資は堅調に推移しているものの、外需の低迷などを背景に製造業の生産活動には足踏みがみられ、景気の停滞感が強まっています。今後も、米中通商問題の展開や中国経済の先行き、英国のEU離脱の影響、中東情勢の変化、新型コロナウイルス感染拡大の懸念等、引き続き不透明な環境が続くことが予想されます。

化学業界におきましても、海外経済の減速により一般的に需要の鈍化がみられる一方、米国で新增設されたプラントからのシェールガス由来の化学製品の生産が本格化していることから、世界的に需給が緩和し、国際市況は低迷傾向にあります。

このような経営環境下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、製品需要が総じて弱含みで推移したことや、原材料価格の低下に伴う売価の低下、中国の景気減速の影響が重なり、前年同期比2,430百万円、7.1%減収の31,775百万円となりました。

利益面は、減収の影響を原材料価格の低下でカバーしたものの、減価償却費や人件費等の固定費負担の増加を補うには至らず、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、前年同期比164百万円減益の1,497百万円、経常利益は、為替差損の影響等により減益幅が更に拡大し、前年同期比272百万円減益の1,151百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、非連結子会社の旭東産業(株)を清算したことによる子会社清算益等の計上により、前年同期比73百万円減益の864百万円となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

## (界面活性剤)

香粧原料は、ヘアケア向け基剤が増加したものの、洗剤用向けの一般洗浄剤が大幅に落ち込み減収となりました。プラスチック用添加剤は、主力の帯電防止剤が、主用途のOPPフィルム用の需要減の影響で振るわず、減収となりました。土木建築用薬剤は、建材関連薬剤等が振るわず若干の減収となりました。一方、農薬助剤は、海外向け販売が第2四半期以降回復し増収に転じ、繊維助剤は中国での販売が引き続き好調で増収となりました。紙パルプ用薬剤は、脱墨剤や消泡剤が低調で減収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比664百万円、3.6%減収の17,783百万円となり、セグメント利益は、減収の影響を原材料価格の低下による利益率の改善でカバーした形で、前年同期比28百万円増益の1,067百万円となりました。

## (樹脂)

石油樹脂は、アスファルト関連向けの落ち込みを主因に減収となりました。合成樹脂は、冷蔵機器用断熱ウレタンフォーム原液等が振るわず減収となりました。樹脂エマルジョンは、金属表面処理剤が低調で減収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比157百万円、6.5%減収の2,257百万円となり、セグメント利益は、石油樹脂の採算改善を主因に、前年同期比70百万円増益の84百万円となりました。

## (化成品)

合成ゴム・ABS樹脂用ロジン系乳化重合剤は、国内外とも振るわず、原材料価格低下による売価下落の影響も相俟って、大幅な減収となりました。金属加工油剤は、大口ユーザー向け販売が大幅に落ち込み減収となりました。石油添加剤は、海外向け販売が振るわず減収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比751百万円、16.3%減収の3,871百万円となり、セグメント利益は、前年同期比57百万円減益の113百万円となりました。

## (スペシャリティーケミカル)

溶剤は、各用途とも総じて低調で減収となりました。電子情報産業用の微細加工用樹脂は、第1四半期の当社工場の定期修理の影響による出荷の遅れや半導体市況の低迷もあり、若干の減収となりました。アクリレートは、昨年後半から中国市場の電子材料関連向け需要の落ち込みが続き、大幅な減収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比826百万円、9.6%減収の7,806百万円となり、セグメント利益は、前年同期並みの243百万円となりました。

なお、上記の各セグメント利益の前年同期比の数値は、後記P. 8 (セグメント情報) 「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」の表における「報告セグメント」の比較情報です。

その他に、各セグメントに帰属しない調整額(棚卸資産の調整額等)が△1百万円(前年同期は181百万円)あります。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、54,061百万円と前期末比1,654百万円の増加となりました。その内訳は、流動資産が152百万円増加の30,759百万円、固定資産が1,502百万円増加の23,302百万円です。

流動資産の主な増減要因は、現金及び預金が910百万円の増加、受取手形及び売掛金が385百万円の減少、たな卸資産が106百万円の減少、還付法人税等の減少を主因とするその他(流動資産)が266百万円の減少です。

固定資産の主な増減要因は、有形固定資産が1,433百万円の増加、無形固定資産が183百万円の増加、投資その他の資産が114百万円の減少です。

一方、負債合計は40,527百万円と前期末比1,209百万円の増加となりました。主な増減要因は、支払手形及び買掛金が842百万円の減少、未払法人税等が131百万円の増加、賞与引当金が282百万円の減少、長期借入金が1,663百万円の増加、退職給付に係る負債が146百万円の増加、リース債務の増加を主因とするその他(固定負債)が481百万円の増加です。

純資産は、13,534百万円と前期末比445百万円の増加となりました。主な増減要因は、利益剰余金が、配当金の支払いと親会社株主に帰属する四半期純利益との差額の608百万円の増加、その他の包括利益累計額が158百万円の減少です。

その結果、自己資本比率は24.9%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、下半期は、電子材料分野を中心にある程度の需要回復を見込んでおりましたが、第3四半期に入っても需要の回復が予想以上に鈍く、第4四半期以降も新型コロナウイルスの感染拡大の影響など厳しい経営環境が予想されることから通期の前回予想を下回る見通しです。

その結果、2019年11月7日の「2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表いたしました2020年3月期の通期連結業績予想を修正しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,264	9,175
受取手形及び売掛金	11,373	10,987
たな卸資産	9,965	9,859
その他	1,003	737
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	30,607	30,759
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,036	8,040
機械装置及び運搬具(純額)	2,170	2,249
土地	3,145	3,145
建設仮勘定	1,405	2,194
その他(純額)	1,453	2,014
有形固定資産合計	16,211	17,644
無形固定資産	843	1,026
投資その他の資産	4,744	4,630
固定資産合計	21,799	23,302
資産合計	52,407	54,061

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,985	8,143
短期借入金	6,573	6,547
1年内償還予定の社債	300	—
未払法人税等	25	157
賞与引当金	494	212
その他	3,881	3,816
流動負債合計	20,260	18,877
固定負債		
社債	4,320	4,620
長期借入金	8,555	10,219
退職給付に係る負債	5,087	5,234
資産除去債務	62	63
その他	1,031	1,512
固定負債合計	19,057	21,650
負債合計	39,317	40,527
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,755	1,755
資本剰余金	896	896
利益剰余金	8,432	9,041
自己株式	△6	△6
株主資本合計	11,078	11,687
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,307	1,290
為替換算調整勘定	894	736
退職給付に係る調整累計額	△264	△248
その他の包括利益累計額合計	1,936	1,778
非支配株主持分	74	69
純資産合計	13,089	13,534
負債純資産合計	52,407	54,061

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	34,206	31,775
売上原価	28,636	26,291
売上総利益	5,570	5,484
販売費及び一般管理費	3,907	3,986
営業利益	1,662	1,497
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	68	71
物品売却益	35	32
その他	48	38
営業外収益合計	155	146
営業外費用		
支払利息	157	148
為替差損	156	236
損害賠償金	—	33
その他	81	74
営業外費用合計	394	493
経常利益	1,423	1,151
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	—	2
子会社清算益	—	128
特別利益合計	0	130
特別損失		
固定資産廃棄損	21	57
投資有価証券評価損	6	—
特別損失合計	27	57
税金等調整前四半期純利益	1,396	1,223
法人税等	455	358
四半期純利益	940	865
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	938	864



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	940	865
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44	△16
為替換算調整勘定	△152	△161
退職給付に係る調整額	13	15
その他の包括利益合計	△94	△162
四半期包括利益	845	703
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	847	706
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△3

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	界面 活性剤	樹脂	化成品	スペシャ リティー ケミカル	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	18,448	2,415	4,622	8,633	34,121	85	34,206	—	34,206
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	163	163	△163	—
計	18,448	2,415	4,622	8,633	34,121	248	34,369	△163	34,206
セグメント利益	1,038	13	171	243	1,467	13	1,481	181	1,662

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析及び物流倉庫業務等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 181百万円には、棚卸資産の調整額 155百万円等が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書計上額の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	界面 活性剤	樹脂	化成品	スペシャ リティー ケミカル	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	17,783	2,257	3,871	7,806	31,719	56	31,775	—	31,775
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	152	152	△152	—
計	17,783	2,257	3,871	7,806	31,719	209	31,928	△152	31,775
セグメント利益	1,067	84	113	243	1,508	△9	1,498	△1	1,497

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析及び物流倉庫業務等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 △1百万円には、棚卸資産の調整額 △29百万円等が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書計上額の営業利益と調整を行っております。